

日野原賞最終審査（二次審査）採点基準 2015年度（H27年度）用

以下の5項目（うち2項目については下位項目ふくむ）について採点を行ってください。

【評価項目】

1. 研究方法の科学性は担保されているか（各下位項目3点×3=9点）
量的研究、質的研究、それらの混合研究のいずれにあたるかを判断の上、ア～ウの下位項目についてそれぞれ3点満点で評価してください。
 - ① 量的研究：ア. 疑問が適切に構造化されているか
イ. 測定方法は適切か
ウ. 交絡・バイアスの対処は適切か
 - ② 質的研究：ア. 対象は明確か、サンプリング法、サンプルサイズが明確に定義されているか
イ. 信憑性 credibility について十分に考察されているか
ウ. 外挿可能性 transferability について十分に考察されているか
(参考)
 - 信憑性: データと研究者の解釈の間に、意図的あるいは非意図的な食い違いがないか
 - 外挿可能性: 研究結果が他の個人、集団、文脈、状況に一般化可能か
 - ③ 混合研究：審査委員の判断で量的または質的研究の比重の大きい方を採用しア～ウについて採点
2. データの分析は適切に行われたか（各下位項目3点×2=6点）
量的研究、質的研究、それらの混合研究のいずれにあたるかを判断の上、ア、イの下位項目についてそれぞれ3点満点で評価してください。
 - ① 量的研究：ア. 統計解析方法の選択は適切か
イ. 解析結果の示し方は適切か
 - ② 質的研究：ア. 確実性 dependability について十分に考察されているか
イ. 確認可能性 confirmability について十分に考察されているか
(参考)
 - 確実性: 研究を繰り返した場合に、同じような結果が得られる可能性があるかについて、研究が行われたプロセスを論理的かつ明快に、そして詳細に記述されていること
 - 確認可能性: 研究結果が研究者の個人的な価値観・興味・考え方などに影響を受けず、研究参加者自身の解釈をどれほど忠実に反映しているか
 - ③ 混合研究：審査委員の判断で量的または質的研究の比重の大きい方を採用しア、イについて採点
3. 研究結果と結論に乖離はないか（5点）
4. 得られた結果はプライマリ・ケア診療にとって重要か（5点）
5. 発表は明快だったか。質疑応答は適切だったか（5点）

【審査評価基準】

- ・項目1、2（各下位項目3点）
 - 3: 基準を達成している
 - 2: 基準を達成している部分としていない部分がある
 - 1: 基準を達成していない
- ・項目3-5（各5点）
 - 5: 基準を充分達成している
 - 4: 基準をほぼ達成している
 - 3: 基準を達成している部分としていない部分がある
 - 2: 基準をあまり達成していない
 - 1: 基準を全く達成していない